

気軽な相談窓口



厚生労働大臣から委嘱を受ける民生委員・児童委員は、地域の実情をよく知り、福祉活動やボランティア活動などに理解と熱意をもった方が、地域からの推薦を受け、選ばれています。民生委員・児童委員が受ける相談はさまざまであるため、各委員は活動を通じて、地域の人々と顔を合わせ、困りごとなど

がないかを確認したり、新たな制度などの情報収集にあたったり、委員同士の情報交換や各種研修会への参加などに努めています。また、民生委員・児童委員の活動は、個人の私生活に立ち入ることもあり、相談者との信頼関係なくして、つなぎ役を担うことはできません。そのため、活動で知り得た情報については、守秘義務が課せられており、相

談上の秘密はしっかりと守られます。心配ごとや困りごとがありましたら、お住まいの地区の民生委員・児童委員へ気軽に相談ください。相談の一例を紹介します。○在宅福祉

- ・ホームヘルパーやデイサービスなどの介護サービスを受けるにはどうしたら良いのだろうか
- ・家族の介護について、話を聞いてほしい
- ・トイレやお風呂などに立ち上がるための手すりを付けたいが、何か助成はあるのだろうか
- ・育児・教育
- ・赤ちゃんが産まれるまでに何かしておくことはあるのだろうか
- ・しつけに自信がない
- ・子どもが、学校に行きたがるうか

- ・年金・保険
- ・年金に関して必要な手続きはあるのだろうか
- ・自分が加入できる健康保険は、どんなものがあるのだろうか
- 生活
- ・環境が急変して、生活が苦しい
- ・一人暮らしで何かあったら心配だ
- ・詐欺被害にあっているかもしれない



登別市民生委員児童委員協議会 会長

おお た とおる
太田 通さん

18年に渡り民生委員・児童委員として活動。中央西地区民生委員児童委員協議会の会長でもある。このほか、幌別西地区青少年健全育成協議会会長や町内会の新和会副会長なども務め、より住みやすいまちづくりに尽力している。

より多くの笑顔があふれる地域を目指して

民生委員・児童委員が担う役割は、時代の移り変わりとともに、より重要度が増しているものと感じています。

人それぞれの生活スタイルが多様化し、人と人とのつながりが希薄化しているといわれている中、住み慣れた地域で共に生活する民生委員・児童委員だからこそ、地域の小さな声に気づくことができます。

最近では、一人暮らしをしている高齢の方からの相談が多く、除雪やごみ捨てなど、生活に直結する問題のほか、災害などへの不安といった精神的な支えを求める声も多くあります。

人それぞれ抱える問題はさまざまですが、私たち民生委員・児童委員は可能な限り迅速に解決できるよう、委員同士の情報交換はもちろん、悩んでいる人に寄り添い、孤立や孤独を防ぐゲートキーパーの研修や『はいかい高齢者等SOSネットワーク』を活用した模擬訓練など、各種研修などに積極的に参加し、委員一人ひとりが日々研さんを積んでいます。

また、将来を担う子どもたちが健やかに成長できる地域を目指すことも民生委員・児童委員の大きな役目の一つです。登下校時の挨拶運動や見守り活動をはじめ、いじめや不登校、育児の不安などについても、積極的に関わり、必要に応じた支援を行うことができるよう、日頃から関係機関や団体との連携強化にも努めています。

民生委員・児童委員の活動で、より多くの笑顔につながっていきたいと考えていますので、ぜひ、お住まいの地域の民生委員・児童委員を確認いただき、どんなことでも気軽に相談ください。

- 家族関係
 - ・夫婦関係がうまくいかない
 - ・親からの相続に関して兄弟間でもめている
- 住居
 - ・立ち退きを求められている
 - ・隣家との境界線が分からなくなってしまう
- 生活環境
 - ・近所の空き家が心配だ
 - ・怒鳴り声や泣き声が近隣で聞こえる